

まちなちの声



3回目を迎えた「まちなちの声」、今回は、妹背牛町農産物直売所アトバイザーとして活躍されており「朝日 規氏」に、お話を伺いました。



Q 議会だよりは読んでいただいていますか？また、議会だよりの良い点、不足している点などはありますか？

A 日頃、議会等に関心がない訳ではないと自分では思っています。が、議会の傍聴や町政懇談会に出席したことがなく、議会のことについては、議員さんに話を聞いた。議会だよりでの各議員さんの質問や回答を読んで、自分なりに

理解しているつもりです。特に議会だよりに対して不足しているところは感じておらず、Q&Aなどは読みやすく、分かりやすいのでまた次号を楽しみにしています。

Q 町民の声は町づくりを進めていく上で非常に重要ですが、議員・議会は町民の声を町政に反映させていると感じますか？

A 私は、町民の声が町政に反映されていると思っています。それは、日頃から矛盾を感じ改善してほしいことがあり、ある議員さんにお話しをした経験から言えることです。現在、私は、直売所の仕事をお手伝いさせていただいておりますが、町内の方はもちろんのこと、最近、町外のお客様が増えています。これは、妹背牛温泉ペペル、りぶれ、カーリング場、パークゴルフ場の影響が大きいと思っています。特に妹背牛温

泉ペペルは大人気であり、町外からの集客に大きな役割を果たしていると思います。町長さんや議員さんには、これら施設の有効な活用を念頭に置き、これからの施設運営とPRに取り組んでほしいと思っています。

Q 本町でもふるさと納税を通じて多くの方から寄附金をいただいています。この寄附金を町づくりのために、どう活かしたら良いと思いますか？

A 9月6日に発生した地震による停電で、直売所で一番心配したことは、冷蔵庫や冷凍庫の管理でした。メンバーから「家庭用の発電機を持って行くから動かしみては」という話があり、お願いをしました。ところが、燃料であるガソリンがなく、町内で唯一手動でガソリンを販売していた店舗があり、そこに行ったところ好意的に対応してくださり、発電機を動かすことができ商品は無事でした。このような災害時に備えるために、寄附金の一部を活用してほしいと思います。

編集後記

大変暑かった夏が過ぎ、あつという間に寒さを感じる季節となりましたが、体調管理には十分にお気をつけ下さい。

今回の胆振東部地震により被災された方々に心からお見舞い申し上げますと共に、早期の復興を願っております。

本町においても二次災害で約半日の停電を経験し、災害への対応、準備の大切さを改めて痛感したところであります。

さて、今定例会も7議員の一般質問で貴重な質問がなされました、議場には多くの町民の方々に傍聴していただき、議員一同身の引き締まる思いと、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、決算審査特別委員会、常任委員会、議員研修会等、議員活動も多くの予定が入っておりますが、町民の皆様のご代表としての活動を行っているところであります。

議会だよりもすこしずつ変化してきておりますが、皆様からの反応を楽しみしております。また同時に町政、議員活動に対してのご意見、ご要望等お知らせ頂きますよう、ご協力をお願いいたします。

広報特別委員会

- 委員長 鈴木 正彦
- 副委員長 石井喜久男
- 委員 広田 毅